

薬剤科 DI ニュース

ディプリバン使用上の注意

脂肪乳剤中で微生物を培養した報告では 12 時間毎に急速に増殖することが報告されています。また米国の CDC のガイドライン¹では脂肪乳剤は 12 時間以内に使用を終了することとされている。このような根拠からディプリバン、それを使用している注射器やチューブ類の交換を 12 時間と設定されています。

脂肪乳剤が細菌の増殖を促進することを調査した報告がある²³。これらの試験で、脂肪乳剤中の微生物増殖は 6 時間後では微生物の増加はわずかだが、12 時間後には 100 倍に、24 時間後には 1000~100000 倍！！に達することが報告されている。

ディプリバンは防腐剤を使用しておらず、また脂肪乳剤のため汚染されると細菌が増殖し、重篤な感染症が起こるおそれがあるので以下の点に注意する必要があります。

- (1) 開封後、無菌的に取り扱い、直ちに使用開始する。
- (2) ディプリバンの投与に使用するチューブ類等も無菌的に取り扱う。
- (3) 1 アンプルを複数の患者に使用しない。1 人の患者に 1 回のみ使用。残液は破棄。
- (4) 投与に使用した注射器、チューブ類及び残液は手術終了時又は、投与開始 12 時間後のいずれか早い時点で破棄する。また、12 時間を超えて投与する場合は、新たな注射器、チューブ類及びディプリバンを使用する。

ポイント

ディプリバン使用中の注射器・チューブ類は 12 時間間隔で交換

当院採用の脂肪乳剤

ディプリバン、イントラリポス、リプル、アリプロスト、ロピオン

¹ 血管内カテーテル関連感染予防のための CDC ガイドライン(2002)

² Keammerer D et al:Microbial Growth Patterns in Intravenous Fat Emulsions. American journal of hospital pharmacy, 40,1650-3(1983)

³ Jarvis WR et al:Bacterial Growth and Endotoxin Production in Lipid Emulsion. Journal of clinical microbiology, 19(1),17-20(1984)